

(別紙)

遺伝的不良形質に関するプロフィールシート
(肉用牛)

登録日：平成29年3月31日

更新日：平成29年3月31日

項 目		内 容
1	遺伝的不良形質の名称／略名	バーター症候群1型／BAS1
2	品種	黒毛和種
3	区分	指定遺伝的不良形質
4	原因遺伝子変異	SLC12A1 遺伝子のミスセンス変異 c.1315C>T (p.Pro372Leu)
5	遺伝様式	常染色体潜性
6	外見的特徴／臨床症状	胎子期に腎機能異常による多尿病態が生じ、胎齢5か月以後に母牛の胎膜水腫を発症させる。発症胎子を妊娠している母牛は、妊娠末期様の腹囲膨満の症状を呈し、人為的な流産処置がなされない場合は母牛が死亡する。
7	経済的損失の評価	特に大きい
	(1) 致死性	胎子は正常娩出されず死産。母牛の致死性も高い
	(2) 生産への影響	大きい
	(3) 発症の時期	胎子期に起こり、特に胎齢5から6か月での発症が多い
(4) 対処、治療の難易	有効な治療法はない	
8	留意点	特になし
9	講ずるべき措置（不良形質の抑制・低減方法）	モニタリング検査の実施 適切な交配の推進
10	その他	